

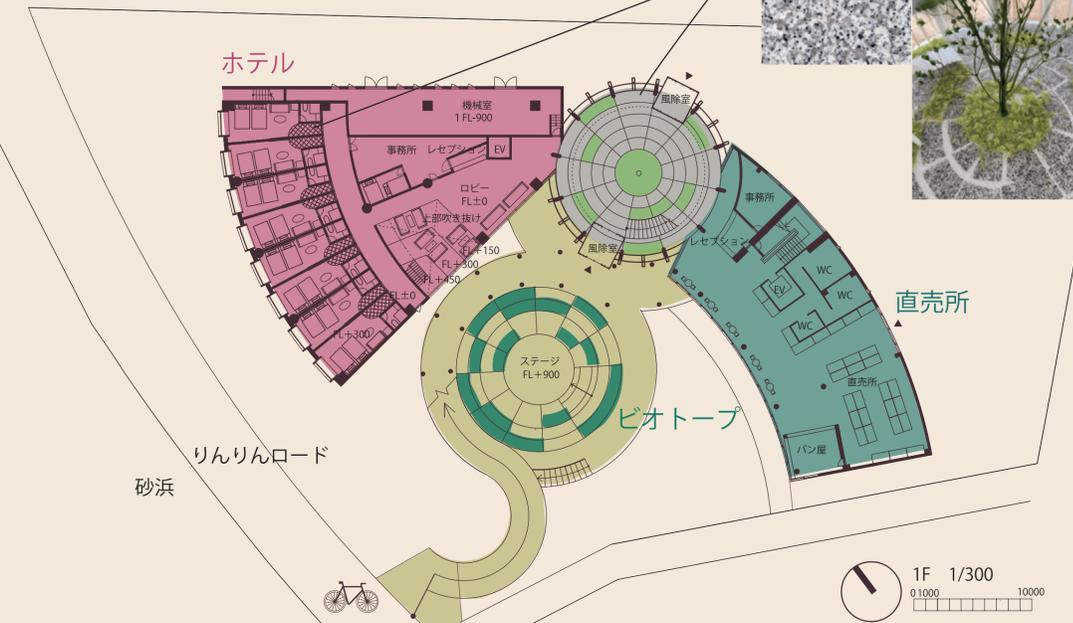
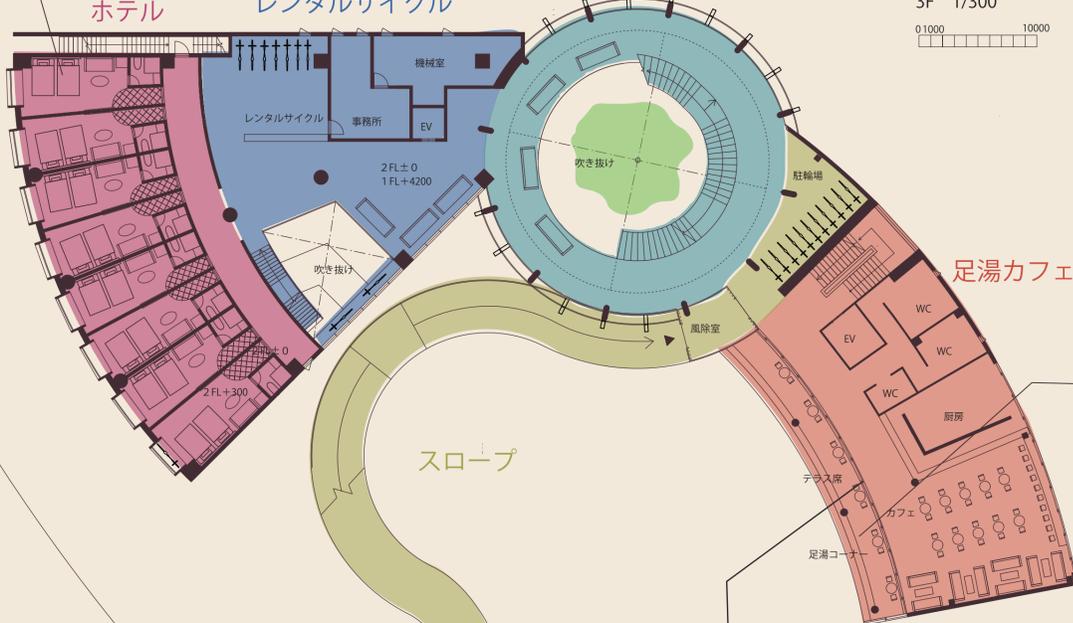
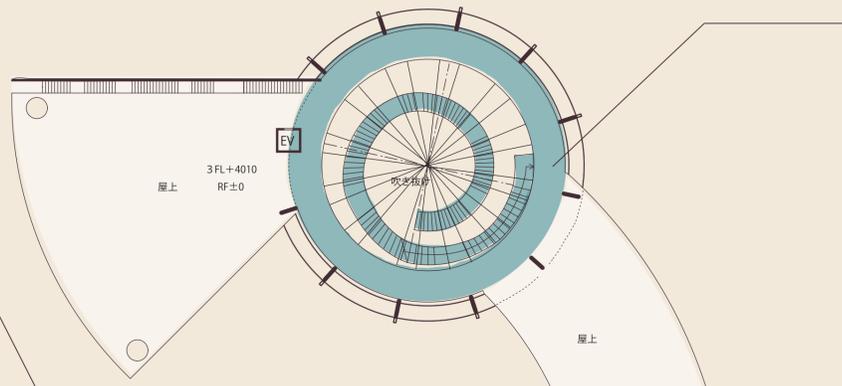
温泉

目の前に広がる霞ヶ浦と繋がるような、既存のインフィニティ温泉。



ホテル

霞ヶ浦を一望できる客室。自転車を押したまま部屋に入ることが可能。壁にかけて眺めたり、窓枠に置いて霞ヶ浦を背景に写真を撮ることができる。



霞ヶ浦

26.26km

● 計画敷地

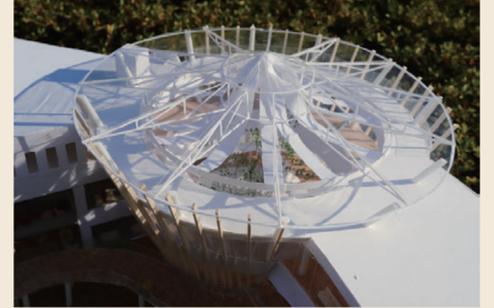
サイクリング

りんりんロードからそのまま、二階にあるレンタルサイクルや客室、カフェに行くことのできるスロープ。中心にはステージを設け、イベントを見下ろすこともできる。



アトリウム

二つの建物を繋ぐアトリウム。大きな吹き抜けで建物全体に光を取り込む。帆引き船の帆を再利用して日よけをつくり、直射日光を調整する。



中心には一階から生える大きな木が癒しを与える。3階は温泉に入った後つづげるゆったりとした空間に。



足湯カフェ

現状あるカフェは規模が小さく、足湯は霞ヶ浦が見えない位置にあるため、二つを合わせて、霞ヶ浦を望める、充実した足湯カフェに。足湯は外部に設けることで、霞ヶ浦の自然の中で堪能できる。底は帆引き船の帆を再利用。



いばらき木づかいプロジェクトの一環である、茨城県産材の桧を使用した既存の床は残す



客室の土間スペースとアトリウム一階は茨城県産材の稲田石を使用



直売所

地元の方に多く利用されてきた直売所は残り、一休憩できるパン屋を増設。自転車のままテイクアウト可能。



ビオトープ

霞ヶ浦の水質改善のため、ビオトープを設置。デッキからビオトープの間を通過して観察できる。

